

TRANSLOG2012&J-RAIL2012

講演発表者の皆様へ

和文論文集と英文ジャーナルに

# 『特集：TRANSLOG2012/ J-RAIL2012』

を同時に企画いたします(企画申請中)

「我が国における交通・物流分野、鉄道技術分野の  
最新研究・技術開発動向」である皆様の研究成果を  
日本語での論文公表として、機論C編特集号に、  
英文での国際的な成果公表としてJMTL特集号に  
論文を掲載しましょう！ふるってご投稿ください

対象誌：

(和文)日本機械学会論文集 C編 2013年10月号

(対象:機械力学, 計測, 自動制御, 機械要素, 潤滑, 設計, 生産加工, 生産システムなど)

(英文) Journal of Mechanical Systems for Transportation and Logistics

(JMTL) Vo.6 No.3 (ONLINE ISSN: 1882-1782)

投稿開始 2012年12月15日(土)  
原稿〆切 2013年2月15日(金)

- 投稿論文は、第21回 交通・物流部門大会(TRANSLOG2012)と、第19回 鉄道技術シンポジウム(J-RAIL2012)のいずれかで、講演とディスカッションを経たものに限られます。
- 投稿先は、日本機械学会論文集C編、JMTLのどちらか一方をお選び下さい。投稿プロセスは通常の論文投稿と同じです。投稿の際に、いずれかの論文投稿Webから、掲載希望特集号として“TRANSLOG2012/J-RAIL2012”をお選びいただくだけです。

TRANSLOG2012実行委員長：藤田 聡(東京電機大学)  
J-RAIL2012実行委員長： 中野公彦(東京大学)

(裏面もご覧下さい)

投稿にあたっては以下の点にご注意ください。

※論文のオリジナリティ主張するため、投稿は、日本機械学会  
論文集C編又は、JMTLのどちらか一方をお選び下さい。

詳細は日本機械学会の論文集の各HPをご覧ください。

・特集号に投稿された論文も通常と同様に論文編修委員会による校閲・審査が行われ、掲載可否が決定されます。

・投稿連絡者は日本機械学会の個人会員に限ります。会員でない方を連絡者として投稿する場合は、先に会員登録を行っていただくようお願いいたします。

・投稿規定・執筆要綱に則り、また、論文集テンプレートファイルを使って原稿を作成してください。いずれも日本機械学会HPにおいて確認、入手可能です。

・掲載後は所定の掲載料をお支払いいただきます。

・和文論文集C編では「技術論文」のカテゴリーでの投稿も歓迎いたします。明確な開発目的があり、技術的新規性と有用性、信頼性を重視し、速報性のある技術的内容を含むものが対象で、「論文」ほど完結性は求められません。ベースになる理論自体に学術的な新規性はなくても、その活用技術や利用方法にオリジナリティがあり、データに信用性があるものは技術論文になります。

\*\*\*\*\*

「日本語での論文公表」をご希望の方は、日本機械学会論文集 C編(対象:機械力学, 計測, 自動制御, 機械要素, 潤滑, 設計, 生産加工, 生産システムなど)へ投稿をお薦め致します。

<http://www.jsme.or.jp/transact.html>

「国際的な論文発信」を目指される方は、英文ジャーナル *Journal of Mechanical Systems for Transportation and Logistics (JMTL)* へ、投稿をお薦め致します。

[http://www.i-product.biz/jsme/data/jmtl/jmtl\\_index.html](http://www.i-product.biz/jsme/data/jmtl/jmtl_index.html)

\*\*\*\*\*